



# 扇小だより

考える子 思いやりのある子 強い子

令和8年度 第13号

52年目

「信」から創る

6月23日 児童数673名

人間市立扇小学校

## 正しく安全な自転車運転を

学校長 村越 新

6月22日、保護者の方々にもお手伝いをいただき、四年生の交通安全教室を実施しました。平成26年、本校の児童が自転車による事故で尊い命を失ったことを指導員さんも知っていたようで、以下の説明には熱がこもっていました。全校児童に、何度も聴かせたいと思ったので、ここでも紹介いたします。



### 自転車安全利用五則。

- 1 車道が原則、左側を通行（歩道は例外、歩行者を優先）
- 2 交差点では一時停止、信号を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯する
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用する（深くかぶる、ベルトでしめる）

自転車に乗る前の点検合言葉「ブタベルサハラ」。

- ・ブレーキがちゃんと効くか
- ・タイヤに空気が入っているか
- ・ベルは鳴るか
- ・サドルは、自分の体に合った高さか
- ・ハンドルは動くか、反射材は貼ってあるか
- ・ライトはつくか

ぜひご家庭でも定期的に、上記の「五則」や「点検合言葉」を確認して下さい。

小学生に多い自転車による事故で多いのは、以下の3つと言われています

○安全確認不足、スピードの出しすぎによる事故

○車輪の巻き込みによる事故

○部品の不具合・整備不足による事故



現在、本校の通学路点検を職員で実施しているところですが、危険な箇所は複数あります。「止まれ」の指示表示がない道路、見通しの悪い交差点、家屋の樹木でふさがれている道路などなど。正しく安全に運転することと同様に、危険な場所もあると認識しておくことも大事だと考えます。

# 子供たちの脳の健康を

『子どもたちに大切なことを脳科学が明かしました』（川島隆太・松崎泰、公文出版 2022.9）には、子供たちの脳にとって何がよくて何がよくないかが、書かれています。我々大人の役割も教えてくれていると考えましたので、その一部を紹介させていただきます。

## 【子どもの脳の発達と生活習慣】

- ・脳では、より複雑な機能を担う場所ほど、思春期を過ぎても**発達が進む**。だから、よい生活習慣を通じて脳の成長につなげることが大事。
- ・じゅうぶんな**睡眠**は、記憶を担う海馬の発達において大変重要

## 【読み聞かせのすばらしさ】

- ・子どもの、言葉・文字・本への**関心**を強める。読んで楽しい・読めるとうれしいという経験につながる

## 【本を読むことのメリット】

- ・読める子どもは、自分で**知識**をどんどん蓄えられる。
- ・読書習慣で、脳の中で**言語**にかかわる場所がよい構造に変わる。

## 【インターネットと脳】

- ・インターネットの使用頻度の高い子どもたちほど**言語能力が低い**。
- ・頻繁なインターネット使用は、子どもたちの脳の発達に**悪影響**を与える。

## 【学習と脳の発達】

- ・**いろいろな科目**の勉強に取り組み、脳の中のさまざまな場所や、脳のネットワークを刺激していくことが大事である。

## 【親子のかかわり方】

- ・親子のかかわり方やふれあいが、子どもの**言葉の理解**などの発達に重要。
- ・親子の**会話**が、子どもたちの発達にとってすごく大切

## ★皆さんに伝えたいこと★

- ・家族全員で、**早寝・早起き・朝ごはん**
- ・家族全員で**本を読もう**

# きれいな音

一年生の鍵盤ハーモニカ講習で、きれいな音を出すための3つの息という話を講師の方がしてくれました。

「**やさしい息**」「**あたたかい息**」「**ゆっくりした息**」の3つです。私たち大人も、子供たちに対して、やさしく、あたたかく、ゆっくりとした息で話しかけてあげたいものだと、考えさせられました。

